

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	22745	
事業名	さっぽろ連携中枢都市圏推進費						
評価担当課	所 属	政)政策企画部 公民. 推進担当			電話番号	011-211-2281	
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	人口減少・少子高齢社会においても、圏域の活力を維持し魅力あるまちづくりを進めるため、2019年3月に、近隣11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町)とともに、「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施(「さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』」締結企業との官民連携の取組も推進)。 さっぽろ圏では、少子高齢化を伴う人口減少やインフラの老朽化等により、将来的に、単独の市町村で行政サービスを維持していくことが困難になることが予想される。そのため、圏域のスケールメリットを活かし、これまで以上に効率的・効果的な連携事業を推進していく必要がある。					
	事業内容(何を実施し)	①さっぽろ連携中枢都市圏関係首長会議(まちづくりパートナー企業意見交換会含む)、さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン懇談会等の開催、事務費(旅費、時間外)②道外における移住促進施策(イベント、情報発信等)の実施、③圏域におけるふるさと納税PR事業					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	さっぽろ連携中枢都市圏の中長期的な将来像である「『住みたくなる』『投資したくなる』、『選ばれる』さっぽろ圏域」の実現					
	他都市の状況	R6. 4. 1時点で38圏域形成 さっぽろ連携中枢都市圏の構成市町村: 札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町					
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外					
令和4年度決算額	9,302 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	2.1 人工
令和5年度予算額	13,000 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	2.1 人工
令和5年度決算額	11,901 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	2.1 人工
令和6年度予算額	11,000 千円		うち特定財源	0 千円		正規職員業務量	2.1 人工
指標	アウトプット活動指標1	連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2回	2回	2回	2回		
	↓						
	アウトカム成果指標1	連携中枢都市圏ビジョンに掲げるKPIの達成割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		66.20%	100%	73.20%	100%		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	今後も定期的にビジョン懇談会を開催し、有識者から頂いたご意見を施策に反映していく。					
	アウトプット活動指標2	なし				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		なし	なし	なし			
	↓						
	アウトカム成果指標2	なし				という状態にしたい、成果を挙げたい	
令和4年度実績		令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
なし		なし	なし				
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	KPIを達成できなかった事業については、必要な見直しを行い、指標達成に向けて取組の促進を図る。						
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	圏域の課題を解決するための新たな事業の構築を検討していくとともに、各取組の評価を踏まえ必要な改善を行う。						